

3/2 もち米商品を応援します！



名寄市では、日本一のもち米を使った「もち米商品」を地域ブランドとして確立させ、関連事業の活性化、地域経済の好循環を生み出すことを目的としてこの日に「ふるさと名物応援宣言」を宣言しました。この応援宣言は、砂川市の「すながわスイーツ」や沼田町の「雪中商品」に続く道内で8番目。加藤市長は「本市でもちの食文化が根強く定着し、国内外から広く日本一のもち米の里なよと認知されるよう、もち米商品を本市のふるさと名物として応援します」と宣言しました。

名寄のもち米についてはこちらをチェック → [名寄もっともち米プロジェクト](#)

もち米日本一のもち米から「もち米商品」を応援！

2/25 ひまわりらんど「親子雪遊び会」



地域子育て支援センターひまわりらんどで、14人の子どもたちとその保護者が参加し、雪遊びをしました。カラーリング取りやそりりレーなどのゲームが行われ、親子で協力して楽しみました。

親子で楽しく雪遊び

3/4.5 市民スキーの日

市民が雪に親しむことを目的として、ピヤシリスキー場のリフト乗車が無料になる「市民スキーの日」と「第35回名寄ピヤシリ歩くスキー大会」がこの2日間で開催されました。市民スキーの日はスキーこどもの日と九度山祭も同日開催で3月4日に行われ、ピヤシリスキー場は多くの人々にぎわいました。また、3月5日に開催された名寄ピヤシリ歩くスキー大会は市内外から300人以上が参加。市スポーツ振興アドバイザーの阿部雅司さんとともに、雪質日本一の名寄の雪を体で感じながら笑顔で完走を目指しました。

冬のスポーツを楽しむ2日間



3/8 東保育所修了式



東保育所修了式が同保育所で行われ、6人の所児が卒所しました。式では、修了児一人ひとりに保育証書などが手渡され、子どもたちはお母さんのもとに歩いていき、その証書を手渡しました。

楽しく過ごした保育所にお別れ

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

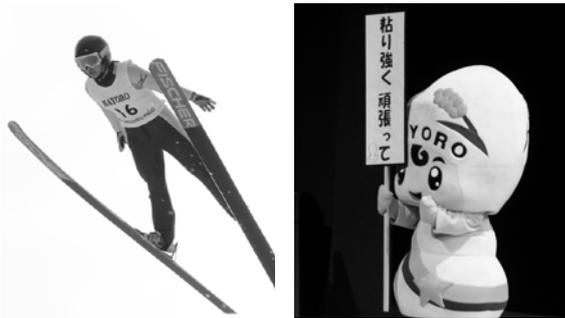


3 / 10~13

JOCジュニアオリンピックカップ（スキーノルディック）



名寄市を舞台に、「JOCジュニアオリンピックカップ2017全日本ジュニアスキー選手権兼全日本中学生選抜スキー大会（ノルディック種目）」が開催され、全国から集まった中高生442人が熱い冬の戦いを繰り広げました。3月10日の開会式では、選手を代表して安澤翔一選手（下川商業高校3年・名寄市出身）の選手宣誓で戦いのスタートを切り、11日から13日まで競技を開催（競技はスペシャルジャンプ、コンパインド、クロスカントリー）。この大会には、名寄市出身選手も多く参加し、スペシャルジャンプ（11日開催）では、女子で鴨田鮎華選手（下川商業高校1年・名寄市出身）が優勝、瀬川芙美佳選手（下川商業高校2年・名寄市出身）が準優勝を果たし、クロスカントリーでは、三上球真選手（名寄東中学校2年）がフリー（12日開催）で中学2年男子3位、クラシカル（13日開催）で同じく中学2年男子2位の結果を残しました。また、12・13日には「市民の表彰式」も行われ、1位から3位の選手と、中学生学年別1位の選手一人ひとりに加藤市長と本市スポーツ振興アドバイザーの阿部雅司さんから花束と記念品が贈られ、記念撮影を行い選手たちの健闘を讃えました。



ホームページのほかに市公式フェイスブック（3月22日現在、2123いいね！）でもまちの出来事を紹介しています。ぜひご覧ください。



3 / 17

智恵文小卒業式



4月から通う中学校の制服に身を包んだ3人の卒業生たちが入場。家族や先生への感謝の言葉や中学校で頑張りたいことなどを発表したあと、川崎直人校長から卒業証書を受け取りました。

6年間通った母校とのお別れ



3 / 16~20

北海道ジュニアカーリング大会



サンピラー交流館カーリングホールを舞台に「第25回北海道ジュニアカーリング大会」が開催されました。開催地の名寄市からも大会に出場し、男子が4位、女子が優勝（2連覇）を果たしました。

小学生から21歳までの選手が氷上で熱戦を繰り広げる